

月



B ブロック全作品と講評



『月の観測』

君とのぞきこむ望遠鏡

のはらで二人声が残響

このまま続けこの状況

となり高まる私の感興

がんばれ私自分を説教

大きな希望を抱く今日

すこし足りず私の度胸

きみも気付けこの心境

好きな子に告白したいそのあなたへ
まだためらっている、そんなあなたへ
今すぐに自分の気持ちを伝えましょう
今すぐに勇気を持って行動しましょう
さもないと悔しい思いをするでしょう
のちのち後悔することになるでしょう
なぜ急にこんなことを言うのかだって

その理由はね……

猶予うという言葉を知っていますか？
十六夜という言葉を知っていますか？
右の方の言葉を いざよう と読みます
左の方の言葉を いざよい と読みます
どちらも同じ意味を持っているのです

その意味はね……

ためらう、躊躇するということ指します

十六日の月が十五日の満月よりも遅く出ることから、月が空に出るのをためらう姿に見立てたことだそうです。十六日の月の様に躊躇ばかりしていると、そのうちに好きな子が見知らぬ誰かに奪われてしまうかもしれないですよ。さあ、思いきってアタックしてみましよう。

『いざようその貴方へ』

大好きだった人がいました。はじめは妙に気が合うという発端でした。次第にあまりに大好きになって、だけれども段々お互いを疎むようになるのです。かわいさ余つて、いうやつでしょうか。私は彼女の奔放さを責めました。彼女の心が私から遠のくのを極度に恐れたのです。そして彼女はきっと私のその束縛に眉をひそめました。ただ、そんなよこしまな気持ちはおそらく私のほうが強かったでしょう。彼女はうまく鬱憤を融通する能力に長けていましたから、私のように溜め込んでどうしようも無くなるまでのことをしませんでした。

ある日私は急に思い立って、彼女を散歩に誘いました。月の綺麗な夜でした。頬の横を通り抜けるぬるい風が心地よかったのを覚えていません。久々にゆつくりと向き合って話す機会が設けられたことに、彼女も喜んでいました。家の中の、ちよつとした山の雑木林を抜けてゆきます。私も彼女も子どもころよく遊んだ山でしたから、手に取るほどとまでは行かずとも、舗装の施されていない斜面も危なげなく歩調をそろえました。木々に遮られ月光の届かない地面を電気ランタンがゆるく照らし、その光の残滓は歩いた場所をたどりました。

いつしか私たちは大きなうろの空いた木の前に着きました。地域の子どもたちが林の中で目印にしていた木でした。懐かしいね、と彼女は私からランタンを受け取ると木に近づきました。陰に溶け込める位置に立った私は、かねてよりの欲望を抑えられなくなりしました。――君に捨てられたくない。

私は後ろから彼女の首を両手で掴みました。驚いてこちらを振り向く彼女は、首の自由を奪われて簡単にバランスを崩しました。がしゃんと音を立てて灯りが消えると同時に、彼女の身体が地に伏せます。倒れたはずみで膝を打ち、腰には擦過傷が刻まれていました。服が捲かれてあらわになった彼女の臍を隠すように、私は胴に跨り締める両手にさらに力を込めました。男の力に勝てるはずもなく、彼女の激しい抵抗は次第に弱くなっていき

ました。ぴくりとも動かなくなっても、私は力を緩めはしませんでした。一瞬、無限の時に迷い込んだような心持ちがしました。彼女の愛らしい顔が醜くゆがめられているのを、どこか冷静なまま眺めていましたが、飽きてくる。私は彼女から離れました。これで彼女は私を捨てることはなくなるでしょう。やり遂げた興奮と安堵と背徳感で、私の身体はがくがくと震えました。

震える手でポケットから折り畳みナイフを取り出し、彼女の腹に滑らせます。ぶつりと肌を破る感覚は脳髓を痺れさせました。気が付くと私は夢中で辺りを膾炙状にしてしまっていました。細切れの肉の下、一枚膜を隔てれば五臓六腑が整頓され収まっているのだと考えるだけでその美しさに打ち震えました。饅えた匂いが漂い始めます。鼻腔を煽るそのなまぐささを肺いっぱい満たし、恍惚としました。

その時です、彼女の声が聞こえたのは。「やっぱり私たち、似た者同士ね。」私は訳が分からず頭が真っ白になりました。だって聞こえるはずがない。頭の中に風景が戻って来ると、彼女はまた木のそばに立っていて、あかあかとした光もまだ彼女の手元で点っています。私は白昼夢を見ていたようでした。

「私もここにあなたと来ようと思っていたの。」

後ろで両手を組んだ彼女の逆光の影には尻尾がありました。尻尾の先は膨らんでおり、時たま鈍く光りました。彼女は私にランタンを投げて寄越しました。私は受け止めようと上のほうに腕を伸ばしました。と同時に空気がぐわりと揺れました。脇に鈍い衝撃が走ります。私は堪らず地面に倒れました。今度こそすぐ傍でランタンが砕けました。視界の端では彼女はぶんと振り回されるような挙動をしていました。木々の隙間を通り抜けた光が一瞬照らし出したものは、斧でした。

私は嬉しくなりました。私と彼女は最後まで出会ったころのまま、気がよく合う二人でいられたのです。

『あなたの月をさらした日』

君がうさぎなら僕は月

僕の頭の中にはいつも君がいる

君が太陽なら僕は月

君の笑顔に照らされて僕の顔も輝く

君が地球なら僕は月

僕はずっと君のことを見ているよ

君がいん石なら僕は月

君とぶつかり心のクレーターが増える

君が狼なら僕は月

この想いが満たされるとき君は僕の虜

君がうさぎなら僕は月

もう君を僕の中から逃がさない

コンテスト結果

[Aの部]

| コラム番号 | コラムタイトル | 点数 | 順位 | 特別賞 |
|-------|------------|---|-----|------|
| | | まじょコメント | | |
| A01 | グッジョブ遠心力 | 33 pt | 1 位 | 0 sp |
| | | <p>ラブラブシーンへのツッコミ。宇宙規模で描いて楽しい表紙となりました。</p> <p>遠心力くんのところだけ、フォントを変えた工夫がとても良く効いて、なんかここだけエコーがかかって聞こえるような。</p> <p>巨大インパクトでフロアの人気をひとりじめ。圧勝首位&イチオシフリーズ大賞です。おめでとう!!!</p> <p>イチオシフリーズ：「遠心力『そうはさせんぞ』」×8 「遠心力」×2 「グッジョブ遠心力」×3</p> | | |
| A02 | 同じ月の下 | 7 pt | 3 位 | 0 sp |
| | | <p>かわるがわるのセリフが、リズムカルで、なごみ系CMのシーンを見ているような臨場感です。</p> <p>ナイス・ハッピーエンド！</p> <p>イチオシフリーズ：「夜空を見上げる君を見て僕は思ったんだ。」 「離さないって」</p> | | |
| A03 | 眠れぬ月夜と魔法少女 | 3 pt | 4 位 | 0 sp |
| | | <p>あたりまえになってしまうと、人はいとも容易に恩義を忘れてしまう。とても共感しやすいコンセプトなので、無理なく納得できるストーリーです。</p> <p>町の人たちにかけた魔法が、心理系というところがより恐いですね。</p> <p>イチオシフリーズ：「その日は綺麗な満月でした。」</p> | | |
| A04 | かぐやひめ | 17 pt | 2 位 | 0 sp |
| | | <p>かぐやひめアナザー・ストーリー。</p> <p>発想も秀逸ですが、リズムとレイアウトもきれいに整えたワザも瞠目すべき。あざやかな逸品でした。</p> <p>おめでとうシルバーに輝くメダル！</p> <p>イチオシフリーズ：「そして彼女は目を開ける」×2 「この世を引っ掻き回せたら君の故郷に戻しましょう」 「肉塊」</p> | | |

[Bの部]

| コラム番号 | コラムタイトル | 点数 | 順位 | 特別賞 |
|-------|---------|---|-----|------|
| | | まじょコメント | | |
| | | 22 pt | 2 位 | 0 sp |
| | | <p>ヨコヨミ プラス ラップ調脚韻わざ。見せつけてくれますねえ。</p> <p>もし、1年生さんがみんなヨコヨミに気付いてたら、</p> | | |

| | | |
|-----|-------------|---|
| B01 | 月の観測 | <p>ひょっとしたら、カルパッチョさん、ダブル首位だったのかも！？おめでとうシルバー・メダル！</p> <p>さあ、先輩を超えよう！</p> <p>イチオシフレーズ：「君のことが大すき」「のはら」「君も気付けこの心境」</p> |
| B02 | いざようそこの貴方へ | 6 pt 4 位 0 sp |
| | | <p>作者さんのお人柄が伝わってくるような、ゆったりとあたたかな語り口がここちよい。</p> <p>一歩まちがえばお説教になってしまうところ、ゆるい感じで、うまく回避しています。</p> |
| B03 | あなたの月をさらした日 | 9 pt 3 位 0 sp |
| | | <p>ん？狐だったのか？？</p> <p>化かされて、殺されて、でも、しあわせ☆。</p> <p>こまやかな描写のおかげで幻想的な光景がくっきり体感できます。</p> <p>イチオシフレーズ：「君に捨てられたくない」「一枚膜を隔てれば五臓六腑」×2「やり遂げた興奮と安堵と背徳感」</p> |
| B04 | うさぎと月 | 23 pt 1 位 0 sp |
| | | <p>歌詞のような。月に太陽にうさぎに狼。何にたとえても、すべてが愛のかたち。</p> <p>さてさて、これをいちずな純愛と読むか、いちず過ぎるストーリーと読むか。あなた次第の今週の読み納めでした。おめでとうゴールド・メダル&イチオシフレーズ大賞!!</p> <p>イチオシフレーズ：「僕は月」「もう君を僕の中から逃がさない」×2「心のクレーター」×3「君がうさぎなら僕は月」×3「君が狼なら僕は月」×3「君とぶつかり心のクレーターが増える」</p> |